

ヘリコプターからの降下方法

機動救難士が降下する方法は次の3つがあります。

1、海面飛込み

高さ5mから名前のとおり、ヘリコプターから海面に飛込む方法だよ。



2、ホイスト降下



ヘリコプターに装備されている「ホイスト」と言う装置を使って降りる方法だよ。「ホイスト」の操作はヘリコプターに乗っている整備士さんがするんだよ。



ホイスト装置

機内でホイスト装置に巻き取られているワイヤーローフ先端のフックに自分のカラビナ（金属製の環）を付け、機外に身体を振り出します。





ホイストマン(ホイスト装置を操作する人のこと)の操作でホイスト装置のワイヤーロープを繰り出して降下していきます。



着地して降下完了!



3、リペリング降下

ロープだけを使用して、降りる方法だよ。
海上保安庁が開発した「M2スライダー」という器材を使うんだよ。



M2スライダー

まずは、降下する隊員がロープにM2スライダーを結着（ロープを通す。）した後、高さ20m～30mぐらいから下の状況を確認して、自らM2スライダーのロープのすべり具合を調整しながら、降下するんだ！



着地後、「M2スライダー」の
スライドを開いてロープを抜い
て、降下完了！

